

令和6年6月27日  
国立大学法人筑波大学  
つくば市

報道関係者 各位

## つくば市バースセンター全面供用開始報告会について

筑波大学附属病院では、医師立会の院内助産システムである「つくば市バースセンター」の全面供用開始報告会を8月1日に開催いたします。

本センターは、つくば市との協定のもと「つくば市総合周産期医学寄附研究部門」が設置され、平成25年9月より既存の周産期病棟内において6床で部分的に開設していました。この度、つくば市の支援により、新たな専用フロアが開設され、すべて個室の12床が加わることとなります。この12床は、入院から出産、産褥期まで同じ個室で行えることが特徴です。

「つくば市バースセンター」の全面供用によって、人口が増加傾向にあるつくば地域において、安心して出産できる環境整備の一助になればと願っています。

### 【つくば市バースセンターの特徴】

全ての部屋がLDR（陣痛、出産、産褥期を同室で行える施設を有する部屋）で、家族の立ち合い出産が行えるようになります。さらに、NICU（新生児集中治療室）と、GCU（新生児回復室）をそれぞれ6床ずつ増やします。

全国的にも女性の出産年齢の高齢化が進んでいると言われてしています。

筑波大学附属病院は、県内唯一の特定機能病院であり、また、総合周産期母子医療センターとして、ハイリスク出産に対応する責務も担っています。今回のバースセンターの全面供用開始によって、つくば市の周産期医療体制の充実・向上に寄与するものと考えております。



【備考】 LDR：Labor（陣痛）、Delivery（分娩）、Recovery（回復）の略語

### 【日時等】

- 日時 令和6年8月1日（木）10:30～11:15
- 場所 筑波大学附属病院 紫峰ホール（B棟11階）
- 出席者 筑波大学  
永田 恭介 学長  
平松 祐司 副学長・理事、附属病院長  
濱田 洋実 医学医療系産科婦人科学教授  
つくば市  
五十嵐 立青 市長  
松本 玲子 副市長

※8月1日の報告会に先立って、メディアツアーも検討していきます。ご希望をお寄せください。

※全面供用開始報告会終了後、出席者がつくば市バースセンター病棟（B棟6階）の視察を行います。

【問い合わせ先】  
筑波大学病院総務部総務課 小山  
029-853-3519  
つくば市保健部健康増進課 飯野  
029-883-1324

## つくば市バースセンター全面供用開始報告会の開催について

誰もが安全に安心して子どもを産み育てられる環境づくりに向けて  
筑波大学附属病院内につくば市バースセンターが全面供用開始

「誰もが安全に安心して子どもを産み育てられる環境づくり」を推進するため、筑波大学とつくば市は、医師立ち合いの院内助産システムを進めて参りましたが、このほど、「つくば市バースセンター」の全面供用開始に係る準備が整いましたので、8月1日に報告会を執り行います。

本センターはつくば市との協定のもと、「つくば市総合周産期医学寄附研究部門」が設置されたことに伴い、平成25年からバースセンターのシステムを構築し、周産期医療の充実に努めて参りました。自治体の協力で国立大学病院内に医師立会いの院内助産システムが設けられるのは全国初の取り組みであり、このシステムを充実させるために新しいセンターの開設に向けて準備して参りました。

本センターは、全て個室で12床備えております。また、全ての部屋がLDR（陣痛、出産、産褥期を同室で行える施設を有する部屋）で、家族の立ち合い出産が行えるようになったことも特徴です。さらに、本センター開所に伴い、NICU（新生児集中治療室）及びGCU（新生児回復室）も6床ずつ増やし、同じ建物内で速やかに移動できる動線を確保するなど、出産後のケア体制の充実にも努めています。（本センターはB棟6階に開所、NICU、GCUはけやき棟5階からB棟5階に移動します）これまでは大部屋も含む26床で年間約1,000人の出産を行ってきましたが、本センターの全面供用開始で、さらに多くの出産が可能となります。

現在、出産できる医療機関数は後継者不足等により減少傾向であり、水戸市の9施設に対してつくば市は本院を含めて4施設と少ない状況です。つくば市は、つくばエクスプレス沿線の開発で今後も人口が増加すると予想され、出産に対応できる医療機関の不足は大きな課題となっています。さらに、全国的にも女性の出産年齢の高齢化が進み、ハイリスク出産への対応が課題となっています。筑波大学附属病院は、県内唯一の特定機能病院であり、また、総合周産期母子医療センターとして、医療機関不足やハイリスク出産に対応する責務も担っています。今回のつくば市バースセンターの全面供用開始は、これらの課題に対応し、つくば市を含む周産期医療提供体制の充実・向上に寄与するものと考えられます。

なお、開始報告会を前にメディアの方を対象に内覧会も行います。問い合わせ先までお申し込み下さい。

LDR: Labor（陣痛）、Delivery（分娩）、Recovery（回復）の略語  
NICU: Neonatal Intensive Care Unit（新生児集中治療室）  
GCU: Growing Care Unit（新生児回復室）